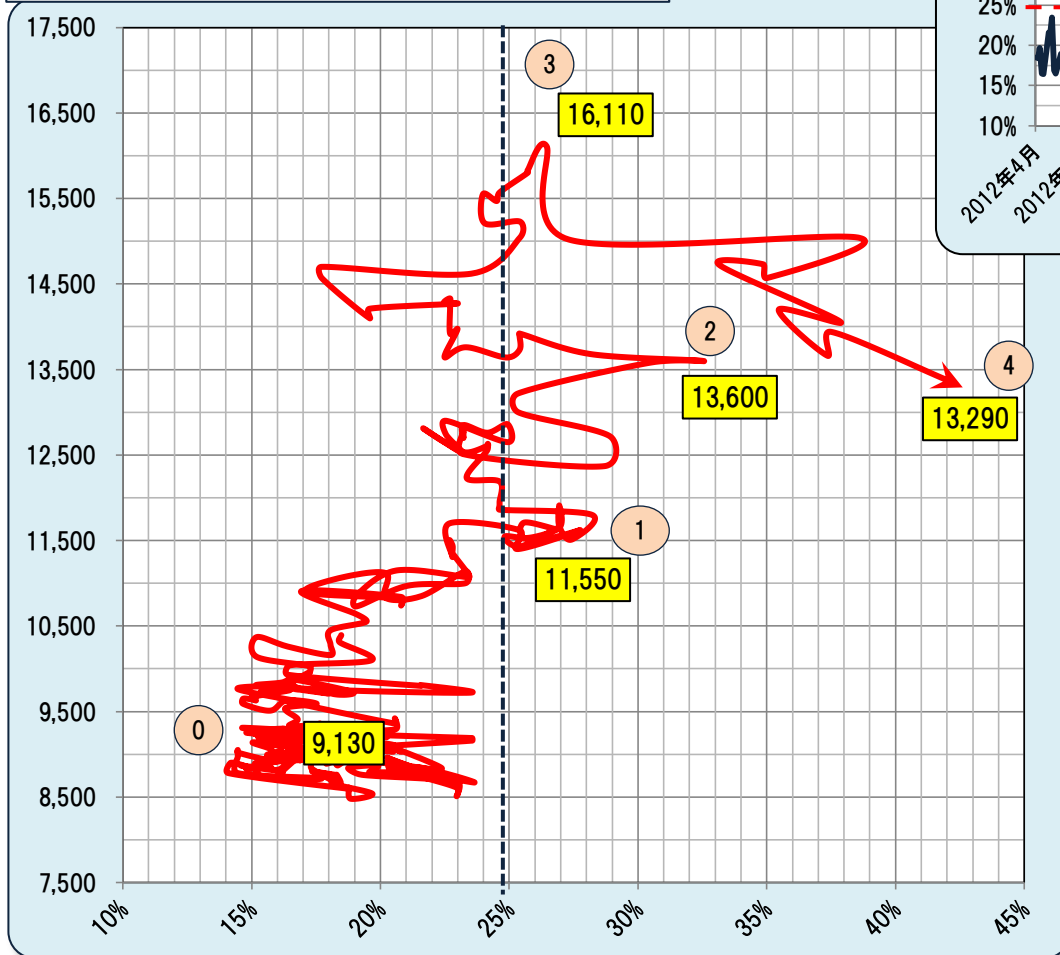


「上場インデックスファンド225 Nikko ETF 225」の
インプライド・ボラティリティーの昨今の状況

IV vs Price Matrix (2012年4月～, Daily)



(Price : Underlying Last Price)

(出所: 日本取引所「有価証券オプションのボラティリティー時系列データ」をベースに、弊社作成。)

IV 推移 時系列 (2012年4月～, Daily)



【主なポイント】

- ◎ 株価が概ね9,000円程度で安定していた時代は、インプライド・ボラティリティー(以下、IV)は基本的に20%を下回って推移。(左図の0(ゼロ))
- ◎ 政権交代後、10,000円を上回った辺りから、株価上昇への期待感等を背景にIVは上昇基調。約3年振りに11,500円を示現すると、IVは25%を超えてきた。(同①)
- ◎ 「異次元緩和」決定後、株価は13,500円へと急伸。IVも一挙に30%台前半へと跳ね上がった。(同②)
- ◎ 株価上昇トレンド定着で、IVは相対的に25%近辺で安定。5月23日でも約27%。(同③)
- ◎ その後の株価急反落で、IVは一転急上昇。6月6日のそれは約43%。投資家等がパニックに陥っている状態を端的に表している。(同④)